

## 水素エネルギーの規制改革の現状について

- 国は、規制改革実施計画等に基づき、規制改革を検討中
  - ・「燃料電池自動車・水素ステーション普及開始に向けた規制の再点検に係る工程表（平成 22 年 12 月）」
  - ・「規制改革実施計画（平成 25 年 6 月 14 日閣議決定）」
  - ・「規制改革実施計画（平成 27 年 6 月 30 日閣議決定）」（資料 5 - 2 参照）

### <既に緩和済の主な規制について>

- 70MPa の水素ステーションの設置が可能
- CNG スタンドやGS との併設が可能
- 市街地における水素保有量増加
- 設計係数の見直しによる充填ノズルの軽量化
- 蓄圧器の材質を鋼製から炭素繊維の活用が可能
- 冷却設備と保安物件（学校、病院等）との距離緩和

### <特に課題となっているもの>（別紙参照）

- 公道との保安距離（8m）の短縮
- 使用可能材質の拡大
- 温度上昇を防止する散水用設備の見直し（散水基準）
- 水素スタンドにおけるセルフ充填の許容